# MOGMOGレポート

3・4 2024月号

## report 01 12月4日 (有)須黒食品 交流訪問

**東大和ブロック委員会主催**

代表取締役の須黒亮吉さん自ら作成した動画を解説付きで視聴後、工場内を見学。機械を導入してあるとはいえ、人の目で状態を見極め、素早い、かつ丁寧な熟練の作業が豆腐作りを支えています。隅々まで清掃が行き届いた工場内は、大豆やお揚げのいい香りがします。

「今日はラッキーですね」と、揚げたてのがんもどきと揚げをその場でいただきました。おいしさに一同感動！

「消泡剤不使用」と一言で言うそれがどんなに大変なことなのか。素材にこだわり、余計なものを使わず、手間を惜しまない。それがいかに手間、時間、費用がかかることなのか、工程を見ることで実感できました。

見学後、豆乳や温かい豆腐とデザート風にきな粉&黒蜜をかけたお豆腐を試食。さらに自ら考案のアレンジメニューの紹介も。その後、自社ブランドを24時間販売している自販機が置いてある「利兵衛庵」へ移動し買い物を楽しみました。

歩いて駅近くまで送ってくださった須黒さん。東都生協と一緒に歩んでくださる姿そのものでした。

## report 02 12月5日 トマトの あれこれ!!

**桜上水ブロック委員会主催**

太陽の陽をいっぱい浴びた貴重な国産加工用トマト。講師に(株)ナガノトマトの林将史さん、佐々木佳希さんを招き、ちょっと役に立つトマトのお話。トマトは野菜？ 果物？ そんな楽しいクイズから始まり、市販のトマトジュースとの飲み比べでは濃縮還元ジュースとの違いに一目瞭然。露地栽培のオリジナルトマトの愛果(まなか)は信州の豊かな自然と契約農家で大切に育てられている品種。ただ夏の炎天下での作業や後継者不足で年々栽培面積、数量、戸数が減少。厳しい現状も学びました。さて、そのまま飲んでもおいしいけれど、料理に使ってもいいスパイスになります。炊き込みご飯や肉じゃが…etc。参加者からも料理提案があり、ますますレパートリーが広がりますね。

トマトが赤くなれば医者は真っ青になる。皆さんの食卓にもぜひ栄養満点で彩りのいいトマト料理をたくさん加えてみてください。

## report 03 12月7日 いざという時の心強い味方「夕食宅配試食会&ほっとはんどミニ説明会」

**小豆沢ブロック委員会主催**

「夕食宅配」や「東都生協くらしの助け合いの会 ほっとはんど」の家事サポートを利用するのは高齢者ばかり？ 確かに高齢利用者は多いものの、在宅ワークや産前産後、突然のけがや腰痛などで家事が難しく、若くても利用するケースがあります。

宅配弁当は冷凍品が多いのですが、その中で東都生協が冷蔵品にこだわっている1つの理由は、利用者の安否確認をするためです。

試食した参加者に感想を聞いたところ、「おいしい」「想像していたほど薄味ではない。割と味がしっかりついている」との声が複数ありました。

「ほっとはんど」は掃除と調理の依頼が大多数を占めますが、幼稚園から稽古事への送迎などの需要もあるそうです。

「いざという時の夕食宅配とほっとはんど」、頭に入れておけば安心ですね。

「ほっとはんど」は、困った時に組合員同士が対等な立場でくらしを助け合う会です。

## Pick up 写真家 大竹英洋 スライドトーク「ノースウッズ 生命を与える大地―北の森にオオカミを求めて―」

ありがとう50th

**12月10日 日比谷図書館文化館　東都生協50周年実行委員会主催**

ノースウッズとは、北緯45～60度北米大陸北部中央からカナダ中部付近の湖水地方の呼称。大竹さんがフォトジャーナリストとしてここを拠点に決めたきっかけは、大学4年生の時に夢に現れたオオカミ。夢から覚め、手にした大判の写真集「ブラザーウルフ―われらが兄弟、オオカミ」は、夢に見たオオカミが今にも飛び出してきそうな迫力。「この写真を撮ったジム・ブランデンバーグに会いたい」とキャンプ道具をリュックに詰めて単身北米ノースウッズに飛び込みました。春夏秋冬豊かな自然の中で出会った動植物の様子、人との出会いをスライドと音声で臨場感たっぷりに解説。オオカミに会うために練習した「遠吠え」も披露してくれました。望遠レンズが辛うじて捉えた一頭のオオカミの映像は、見る者を一瞬にしてノースウッズへ誘う迫力がありました。

「動物たちのこのまっすぐな目線に何度も触れ合ううちに『お前たち人間はいったい何者なのか。そこで何をしているのか』そういったことを問われている気がする」と語りました。

最後に「あのまっすぐな目線に出会って、この地球には人間だけではなく、いろいろな動物たちが、恋をしたり子育てをしたりして生きている。そういう世界を子どもたちに感じてほしい」と願って作った写真絵本「もりはみている」(福音館書店)をそっと語りかけるように朗読しました。

「もりはみている もりはしずまりかえり
なにもしゃべらないけれど いつだってきみをみている」

会場に集まった154人の参加者から拍手が沸き上がりました。親子三代で参加した鳥山さんは「落雷による山火事が多様な森をつくり出していることなど、視野を広く持つことができた」と環境問題への関心を話してくれました。

多様な生き物と分かち合うこの地球のかけがえのなさを感じるスライドトークでした。

大竹英洋さん
1975年生まれ

information

## 2023年12月のNO2(二酸化窒素)測定結果

東都生協では、「身近なところの空気の汚れを実際に測って確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいのか」を考えることを目的に1988年からNO2(二酸化窒素)測定活動を実施しています。

測定結果は「大気汚染測定運動東京連絡会※」に提供しています。同会では生協の他、さまざまな団体から集めた測定結果を基に、大気汚染の改善を求めて運動を展開しています。毎回の地道な測定活動の積み重ねが大きな運動を支えています。

**測定日の気象状況**

**測定日時** 2023年11月30日(木)午後6時～12月1日(金)午後6時
※前後2時間を有効とする

**天　候** 11月30日(晴れ) 平均風速：2.4m/S
12月　1日(晴れ) 平均風速：2.0m/S

**測定規模**

・参加人数：218 人
・カプセル配布数：248 個
・カプセルの返却数と回収率：228個(91.9%)
・有効とした測定数と回収率：173個(69.7%)

**測定結果**

今回の全体平均濃度は、0.013ppmでした。過去5年間に測定した12月の平均濃度(0.020ppm)との比較では低い値になります。

都内の大気汚染常設監視測定局が測定したNO2平均濃度は、道路沿いが0.018ppm、住宅地は0.013ppmでした。なお、環境省が定めたNO2の基準値は「0.040～0.060ppmのゾーン、またはそれ以下であること」とされています。

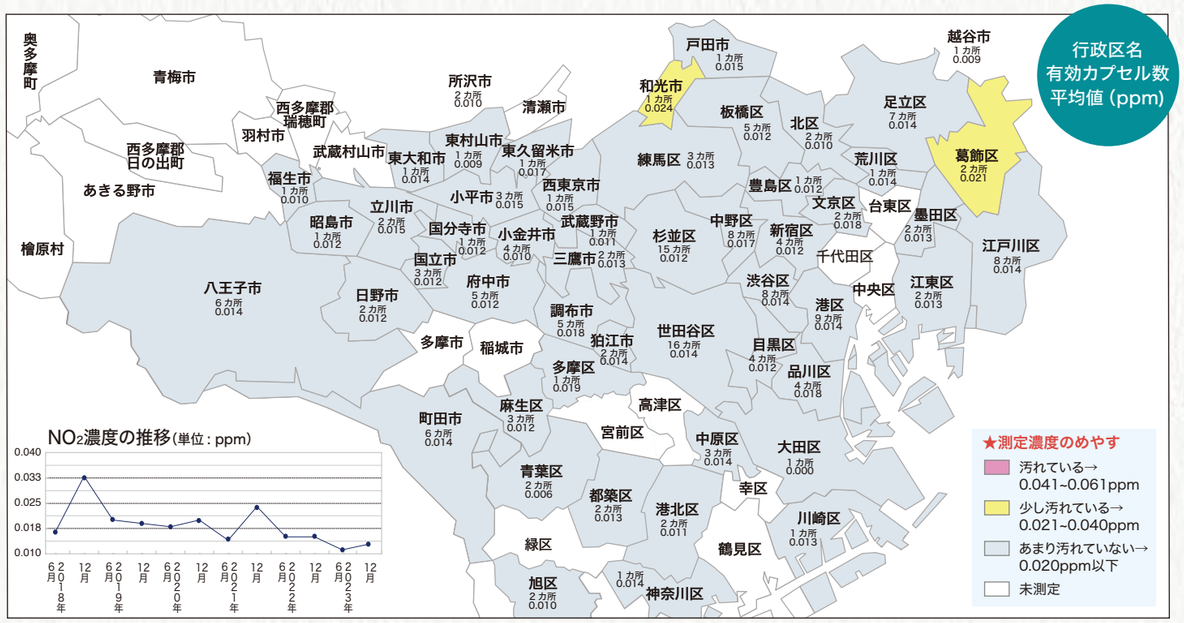
**地域別の測定結果**

| 測定地域 | 測定結果 | 前年実績 |
|---|---|---|
| 東京都全体 | 0.013 | 0.015 |
| 東京23区 | 0.014 | 0.016 |
| 東京多摩地域 | 0.013 | 0.013 |
| 神奈川県 | 0.012 | 0.016 |
| 埼玉県 | 0.014 | － |
| 千葉県 | － | － |

### 大気汚染測定運動東京連絡会

大気汚染測定運動に参加する各地域実行委員や団体の自主的な活動を基盤とする連絡会です。

きれいな空気を取り戻し、健康と環境を守り、大気汚染による健康被害を防ぐことを目的に活動を進めています。東京連絡会全体で取りまとめた測定結果は、東京都や環境省に報告され、有害物質の排出抑制を進めるための貴重なデータとして活用されています。




## 理事会報告(抜粋)

### 2023年度第9回定例理事会(2024年1月18日開催)

**審議事項**
- 「私たちの東都生協」(第1次議案書)確認の件
- 全国制度「生協役員賠償責任保険」の加入申込の件

**報告事項**
- 2023年12月度決算報告
- 各部署業務報告
- 組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- 能登半島地震支援募金実施の件

**今後の理事会日程(予定)**
・5月　9日(木)
・5月21日(火)

**＜12月の私たち＞** 2023年12月20日現在 ※[　]内は前年比

| | | |
|---|---|---|
| 組合員数 | 259,869人 | [101.1%] |
| 加入 | 9,531人 | [168.6%] |
| 脱退 | 5,972人 | [104.7%] |
| **総事業高** | **25,277,109千円** | [ 96.6%] |
| 共同購入事業 | 24,189,297千円 | |
| 弁当配食事業 | 291,978千円 | |
| 生活文化事業 | 188,787千円 | |
| 生活支援事業 | 55,243千円 | |
| その他事業 | 551,805千円 | |
| **出資金** | **6,698,864千円** | [ 99.6%] |
| 1人当たりの出資金 | 25,778円 | [ 98.5%] |
| 1人当たりの利用高 | 6,180円 | [100.6%] |